

お客様各位

2016年10月

富士電機株式会社

発紘電機株式会社

V9シリーズ不具合について(ご連絡)

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。 さて掲記の件、モニタッチ V9 シリーズに関しまして、下記の不具合があることが判明致しました。つきましては、 その内容をご連絡申し上げます。貴社に大変ご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

1. 不具合内容

V9 シリーズにおいて、下記の不具合が発生する可能性があります。

現象1:リスタートが発生する。

(通信停止などが発生したのちに自動復帰します。)

現象 2:画面がフリーズする。

(電源再投入にて正常復帰します。)

2. 不具合原因

V9本体OSプログラムの不備による不具合です。

3. 発生条件

V9 の内部動作タイミングにより発生するため、発生条件を特定できませんが、下記の機能を使用している数が多い程、現象が発生しやすい傾向にあります。

- ①マクロ機能(イベントタイママクロ、サイクルマクロ、インターバルタイママクロ)
- ②転送テーブル機能
- ③アラーム、ロギング機能

4. 不具合対象機種、範囲

対象機種: V9 シリーズ全機種

対象バージョン : OS Ver. 1.00 (2014年5月1日生産)~ 2.60(2016年10月20日出荷分)

5. 修正スケジュール

V9本体 OS、プログラムおよび作画エディタ V-SFT をバージョンアップ致します。

V9 本体 OS Ver.2.60 → **Ver.2.70 2016 年 10 月 21 日 (金) 出荷分から切替** V9 本体プログラム Ver.1.300 → **Ver.1.310 2016 年 10 月 21 日 (金) 出荷分から切替** 作画エディタ V-SFT Ver.6.0.19.0 → **Ver.6.0.20.0 2016 年 10 月 21 日 (金) 出荷分から切替** 下記ホームページの作画エディタ V-SFT アップデート版は、10 月 21 日 (金) にアップ致します。

6. OS アップデートのお願い

下記ホームページより修正版エディタ Ver. 6.0.20.0 をダウンロードして頂き、V9 本体 OS のアップデートをお願い致します。

OS アップデート手順は、添付の手順書、または以下のマニュアルを参照願います。 リファンレンスマニュアル2 "8.3.4 OS の手動アップデート"

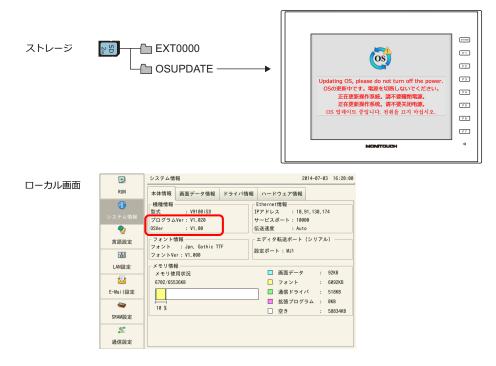
7. ホームページ URL

http://www.hakko-elec.co.jp/



OS の手動アップデート

V9 シリーズの本体を動かすための「OS」を手動でアップデートします。 OS バージョンは、V9 のローカル画面の[システム情報]で確認できます。



注意事項

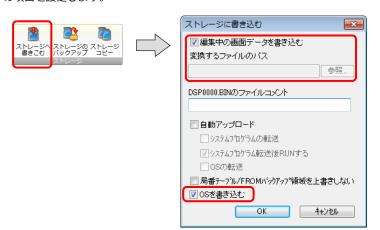
- 万が一のトラブルに備え、OS アップデートを行う前に、画面データやその他のデータ(SRAM データなど)のバックアップを取ることをお勧めします。
- OS アップデートを行うと、自動的に本体プログラムもアップされます。
- OS アップデートは、約 2 分かかります。その間、絶対に V9 本体の電源を切ったり、ストレージを抜かないでください。
- V9 本体に SD カードと USB メモリ両方が挿入されている場合、SD カードを優先します。
- OS アップデート用のフォルダ「OSUPDATE」はストレージ1つにつき、1つの格納です。

パソコン → ストレージ書込

- 1. V-SFT を起動します。
- 2. [ファイル] → [新規作成] → [編集機種選択] → [PLC1 接続機器選択] を行い [スクリーン編集] 画面を表示します。
- 3. [ファイル] → [ストレージマネージャー] をクリックします。ドライブを指定するダイアログが表示されます。
- 4. ストレージを挿入しているドライブを指定して [OK] をクリックします。ストレージマネージャ*1が起動します。

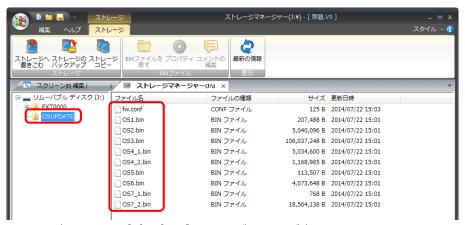


*1 ストレージマネージャーとは? ストレージに V9 の画面データを書き込んだり、ストレージ内のデータを取り込んで各ファイル形式に変換するためのアプリケーションです。 5. [ストレージ] → [ストレージへ書きこむ] をクリックします。[ストレージに書き込む] ダイアログが表示されます。 以下の項目を設定します。

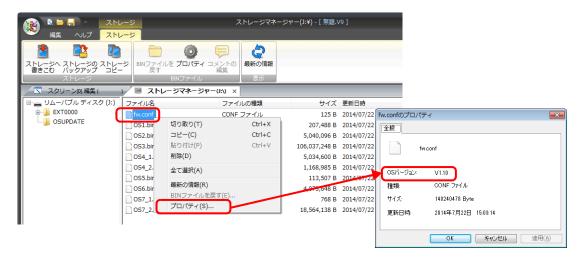


項目	内容
編集中のデータを書き込む *1	V-SFT で開いている(編集中)の画面データを書込みます。
変換するファイルのパス *1	[参照] から、ストレージへ書込む画面データを選択します。 [画面データファイル (*.V9)]
OS を書き込む	手動アップデートする場合に選択します。

- *1 OS データを書き込むためには、画面データが必要です。
- 6. 設定が終了したら [OK] をクリックします。[OSUPDATE] フォルダに以下のファイルが保存されます。



[fw.conf] ファイルを右クリック→ [プロパティ] で、OS バージョンが確認できます。



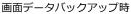
V9 本体の動作

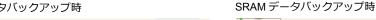
画面データ /SRAM データのバックアップ

1. [SYSTEM] スイッチを押して、[システムメニュー] *1 表示中に [ローカルモード] スイッチを押します。 ローカル画面が表示されます。



- *1 [システムメニュー] が表示されない場合は、[SYSTEM] と [F7] (V9060 は [F5]) を同時に押し続けます。(最大 30 秒) [システムメニュー] に [ローカルモード] がない場合は、[F1] と [F7] (V9060 は [F5]) を同時に押し続けます。(最大 30 秒)
- 2. メニューアイコンの [ストレージ転送] スイッチを押します。
- 3. [ストレージ転送] 画面で以下の項目を選択し、[決定] を押します。









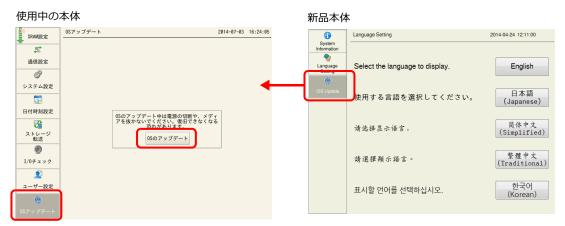
4. [ストレージ転送] 画面で [転送開始] スイッチを押します。転送終了時に以下のウィンドウが表示されます。[OK] を押すとファイル情報が更新されます。バックアップ終了です。



OS アップデート

ストレージにデータを格納したら、以下の手順で OS アップデートを行います。

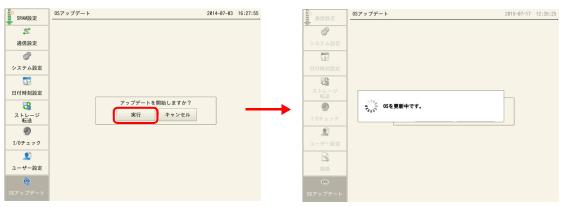
- 1. V9 の電源を切ります。
- 2. ストレージを V9 本体に挿入します。
- 3. V9 の電源を入れます。(新品の本体の場合、手順 6 へ進む)
- 4. [SYSTEM] スイッチを押して [システムメニュー] を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。ローカル画面に切り替わります。
- 5. [システム情報] メニューで、現在の「プログラム Ver」、「OSVer」を確認します。
- 6. $[OS \, \mathcal{P} \, \mathcal{V} \, \mathcal{F} \, \mathcal{F} \, \mathcal{F}] \, \, \mathcal{V} \, \mathcal{L}_2 \, \mathcal{V}^{*1} \, \, \mathcal{T} \, \mathcal{V} \, \mathcal{V} \, \mathcal{F} \, \mathcal{F}$
- *1 [OS アップデート] メニューは、OSUPDATE フォルダが格納されたストレージを挿入している時のみ一番下に表示されます。



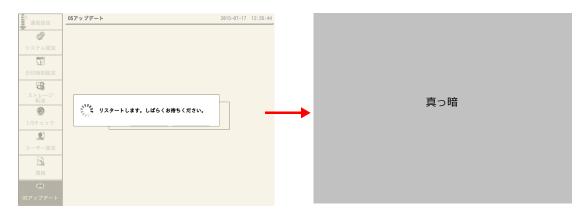
7. 以下の確認メッセージが表示されるので、[実行] スイッチを押します。OS のアップデートが開始されます。



OS アップデート中は、V9 シリーズの電源を切ったり、ストレージを抜かないでください。



8. V9 シリーズが再起動し、画面が 5 秒程度真っ暗になります。



9. OS の更新中は、以下の画面が表示されます。



10. OS のアップデートが正常に完了すると、以下の画面が表示され、自動的に V9 シリーズが再起動します。



11. [SYSTEM] スイッチを押して [システムメニュー] から再度ローカル画面に切り替え、「プログラム Ver」、「OSVer」 がアップしたことを確認します。

